

2026 年度 看護師職能委員会 I 活動計画

I 活動目標

- 1 病院領域で働く看護職の課題を発見し、意見を集約する。
- 2 看護職のウェルビーイング向上と働きやすい環境づくりを支援する。

II 公益目的事業

1 活動内容

- 1) 病院領域で働く看護職の課題発見のための調査、意見集約
- 2) 看護職の資質向上、働きやすい環境づくりのための研修会等の企画・実施
- 3) 日本看護協会職能委員会と連動し、看護職のウェルビーイング向上に努めるとともに就業継続可能な働き方支援に取り組む。

2 活動計画

- 1) 定例会：年 12 回
- 2) 研修会：年 2 回、延定員 400 名
- 3) 実態調査

III 会員支援事業

1 活動内容

- 1) 職能集会・講演会で事業計画を説明し、看護師職能委員会 I の活動を周知する。
- 2) 講演会や交流会の機会を通して、会員増を図る。

2 活動計画

- 1) 職能集会・講演会：年 1 回、定員 80 名

看護師職能委員会 I 研修（講演会）実施報告

研修（講演会）テーマ	意思決定支援研修第2弾「患者本人が決める」ことを支援するために事例から学ぶ実践編		
主 催	看護師職能委員会 I		
講 師	渡邊 眞理氏（湘南医療大学 保健医療学部看護学科 教授）		
開 催 日 時	2026 年 7 月 7 日（火）14:00～16:00		
目 的	事例から意思決定支援の具体的な介入方法を学ぶ		
内 容	講演		
場 所	神奈川県看護協会第1研修室（神奈川県総合医療会館6階）		
参 加 対 象	看護職	参 加 人 数	84 名 （会員 71 名・非会員 13 名）
まとめ・評価	1. アンケート回収 55 名 回収率（委員を除く） 79.7% 1) 会員：45 名 2) 非会員：10 名 2. 職種 1) 看護師：52 名 2) 助産師：1 名 3) 保健師：2 名 4) 准看護師：0 名 5) その他：0 名（学生） 3. 研修会を知ったきっかけ 1) 看護協会からの案内チラシ：21 名 2) 看護協会のホームページ：18 名 3) 上司からの情報：12 名 4) 友人・知人からの情報：2 名 5) 協会 LINE：2 名 6) その他：0 名 4. 参加動機 1) 自ら進んで：42 名 2) 上司の勧め：9 名 3) 同僚の勧め：4 名 4) ホームページを見て：0 名 5) その他：0 名 5. 感想 1) 非常に良かった：32 名 2) 良かった：20 名 3) 普通：3 名 4) やや期待はずれ：0 名 5) 期待はずれ：0 名 6. アンケート内容 ・実際に使える内容であり、具体策がイメージできた。 ・様々な意思決定場面があることに気づくことができ、日々の関わりに活かしたいと思った。 ・事例を検討したことで、より具体的に支援について考えることができた。 ・事例に対する考え方について、先生の意見や介入方法をもっと知りたかった。 7. 評価 患者の意思決定支援を行うことが 2024 年度の診療報酬改定において入院基本料の通則に盛り込まれたため研修を企画した。今回の研修では、高齢患者の意思決定支援について、具体的な事例を検討し、支援者の考え方について討議した。 アンケート結果では、約 94.5%の受講者が「非常に良かった・良かった」との回答があり、満足度が高かったと評価する。 受講者からは、「前年度に引き続き参加したが新たな気づきを得ることができた」、「意思決定支援は難しく、悩ましいが、看護師として思考を止めず、介入をあきらめることなく実践し続けていく必要がある」との意見があった。		

